

いわちゃん ポスト

岩井やすのりの県政かわら版

千葉県議会議員



岩井やすのり

プロフィール 1970 年生まれ 46 歳
 県立君津高校・専修大学経済学部卒
 早稲田大学大学院 政治学研究科修了
 H27 年 千葉県議会議員 2 期目当選

岩井やすのり 議員事務所

TEL : 0476-36-7799

HP : <http://www.iwai-y.jp> メール : mail@iwai-y.jp

印旛郡栄町安食台 2-26-23(栄町役場前大山ビル 2F)

県管理点字ブロック 不具合箇所 8 割を補修

県は県内特定道路の総点検を実施し、約 100 か所の点字ブロックの不具合を発見。うち 8 割の補修を終えたことが明らかになりました。県議会本会議にて、岩井が指摘、要望してきたものです。

H25 県議会にて不具合箇所総点検を要望

点字ブロックとは、足裏の感覚で正確な方向がわかるようにし、弱視者を含む視覚障害者の単独歩行を助けるものです。

しかし、横断歩道の入り口や階段前に、注意喚起するための警告用点字ブロックが設置されていなかったり、点字ブロックの設置位置に誤りがあったりする等、視覚障害者が危険やとまどいを感じるケースも少なくありません。平成 25 年 2 月の県議会では、これら課題について取り上げ、県が管理する道路上の点字ブロックの総点検、不具合箇所の補修を強く要望してきました。

点字ブロック不具合 県内 100 か所を発見

ところで、社会的弱者の移動等について規定した、いわゆるバリアフリー新法にて、特に高齢者、障害者等の移動が多い道路として指定された道路を「特定道路」と呼んでいます。

千葉県は平成 25 年度に、点字ブロック設置済みの県管理特定道路（17 路線・約 4.1km）の一斉総点検を実施。約 100 か所の不具合を発見し、昨年度末までに 80 か所の補修を終了しました。また、新たに 500m 分の点字ブロックの設置を終え、さらに 2km 区間の点字ブロック新設を進めるなど、県管理道路の点字ブロックの管理は大きく前進しました。一方、市町村が管理する特定道路は 100km 以上に

不具合事例 管理状態の悪い点字ブロック



障害者が危険箇所を察知できず、車道に飛び出してしまふ等により、事故につながる危険が大きい。(JR 津田沼駅付近)

及び、点字ブロック不具合箇所の点検、管理が課題です。

県による点字ブロックの管理が課題

各県の「福祉のまちづくり条例」にうたっている点字ブロックの設置は努力義務規定にすぎず、国も自治体も点字ブロックの状況（設置年月日等）を把握できていません。不具合のある点字ブロックについては、道路管理者が、利用者や住民からの指摘によって改修しているというのが現状なのです。今後は、設置届出制を導入する等により、点字ブロックの設置情報を行政が把握し、不適切設置や経年劣化を見逃さない体制づくりを進めるべきだと考えます。

障害者が安全に歩行できる環境づくりのため、さらに働きかけを行ってまいります。

H27 年度政務活動費のご報告

項目	支出(円)	内容
調査研究費	137,110	調査活動に関わるガソリン代、高速道路料金、鹿児島視察費用
資料購入費	155,708	政務に関わると認められる書籍等購入費
広報費	126,599	HP更新費用、県政かわら版作成費、県政かわら版配布費用
事務所費	940,793	事務所家賃、事務所水道光熱費、事務所暖房用灯油代
事務費	725,592	コピー機リース代、印刷機レンタル代、事務所電話代、駐車場代
人件費	1,053,867	政務活動補助のための事務所職員人件費
合計	3,139,669	

残余として 106 万円あまりを返却

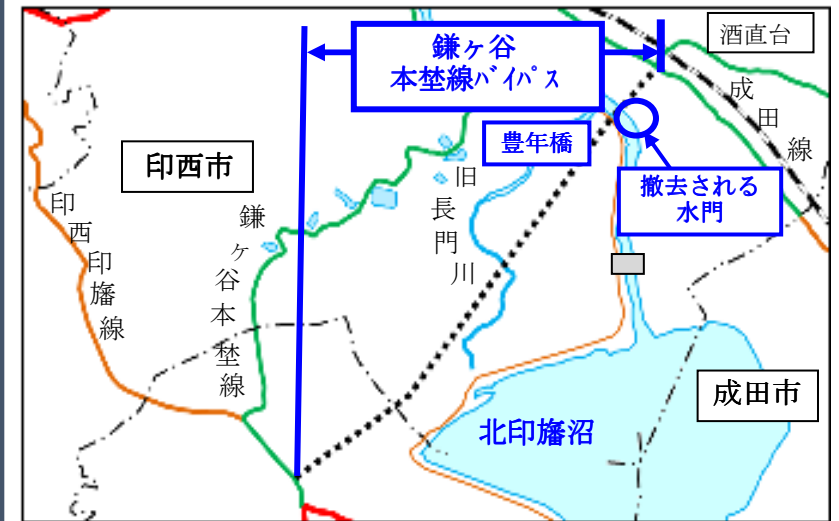
政務活動費は、議員が行う政務調査や議会報告等の政務活動を支えることを目的とし、千葉県議会では年額 420 万円となっています。

岩井の平成 27 年度政務活動費の使用額は、人件費約 105 万円、事務所費約 94 万円、事務費約 72 万円等で計 313 万 9669 円でした。特に視察費用として計上したのは、昨年 11 月実施の鹿児島県内視察の一回であり、要した費用 83,566 円のうち 40% に相当する 33,425 円のみを充当しています。県内視察は自家用車での移動のため、費用を計上しておりません。

なお、H27 年度分として支給された政務活動費 420 万円のうち、残余となった 106 万 331 円は 5 月中に返却しました。



鎌ヶ谷本埜線バイパス 早期開通めざす



県道鎌ヶ谷本埜線は、国道 464 号を經由して、利根川沿川地域と東葛飾地域を結ぶ重要な路線。特に、印西市萩原地先から栄町安食までのバイパス事業については、栄町から千葉ニュータウン方面への利便性向上はもちろんのこと、千葉ニュータウンと成田空港を含む成田市方面へのアクセス道路として、早期開通が大きく期待されています。

用地 9 割取得済み 開通は平成 30 年代初頭

県は、平成 27 年までに面積ベースで約 9 割の用地を取得し、用地確保ができたところから盛土工事等を進めてきました。

栄町安食の菊水食堂付近では、既存水路の真上に新道が設置されること、豊年橋の架換工事が必要となることから水路の切廻工事を実施。昨年度末にはう回道路とう回路が完成しています。本年秋ごろまでに既存する水門の撤去を終える一方で、老朽化する豊年橋のケアも課題となっているところです。

肝心の完成時期については、栄町とともに事あるごとに要望してきているものの、平成 30 年代初頭との回答です。引き続き、早期開通を目指し強く働きかけてまいります。